

## 事例8-7



|      |                                                                  |           |                                                                 |
|------|------------------------------------------------------------------|-----------|-----------------------------------------------------------------|
| 取組名  | 青年会等、世代ごとの組織・活動を通じた人材育成の仕組み                                      |           |                                                                 |
| 町会名  | ことぶきだい<br>寿台4丁目町会（寿台地区）                                          | 町会<br>データ | ・人口／245人<br>・世帯数／106世帯<br>・高齢化率／37.4%<br>・町会加入数／85世帯<br>・隣組数／9組 |
| 取組概要 | ○ 育成会、青年会、長寿会を始めとした各年代の活動を町会が支援<br>○ それぞれの活動を通じて、町会の人材育成につなげている。 |           |                                                                 |

## 背景・課題

- ・ 当町会は、県の宅地造成により、昭和46～48年ごろに、当時30～40代の働き盛りが家を新築し、住み始めたのが始まりで、現在も当時入居した住民が住み続けている。
- ・ 町会の年代別の人口では、第1世代の80代が最も多く、第2世代の50代前半、第3世代の30代にピークがあるが、他の年代とのギャップは大きく、高齢化も顕著となっている。
- ・ 特に第1世代は、「4丁目」は自分たちが築いてきたという自負を持っている。役員経験者は「やってよかった」という人が多い。

## 経過・取組内容

- ・ 当町会では、「育成会」「長寿会（高齢者クラブ）」「お元気会（100歳体操クラブ）」に補助金を支出し、活動を支援している。
- ・ 育成会は、三九郎や、夏休みのラジオ体操、花火大会、寿台地区夏まつり時の子ども神輿などを行っている。子ども神輿は、4丁目独自に実施。
- ・ 長寿会は、花壇づくりや集会所の清掃等のほか、旅行等の親睦活動も実施している。
- ・ 今から10年前に、主に町会行事を支えるボランティアとして「寿台4丁目青年会」を設立した。当時、青年会を作って活動したいという住民がいたために実現した。現在会員は25人、うち15人ぐらいが常時動いてくれている。

- ・ メンバーは60代が中心だが、若い人もいる。R7年度に転入してきた1世帯も、青年会に加入してくれた。
- ・ 青年会の活動としては、夏まつりの神輿担ぎや球技大会等の地区行事への協力のほか、三九郎・花火大会など子どもを対象とした行事、一斉清掃時の草刈りなどへの協力を行っている。

## 成果・今後の展望等

- ・ 育成会の活動を通じて「地域が子どもたちを見守り育てる」という意識を醸成するとともに、子どものときから地域と関わる機会が維持されている。
- ・ 青年会の中には「65歳で青年会を卒業し、その後町会長をやる」という人も複数いる。
- ・ 育成会、青年会、長寿会と各年代で地域と関われる場が用意されているため、世代間の引継ぎも容易であり、住民の結束力の維持につながっている。

## 【ポイント】

- ▼ 育成会、青年会、長寿会と各世代の活動を支援することで、切れ目なく町会人材を育成する仕組み